
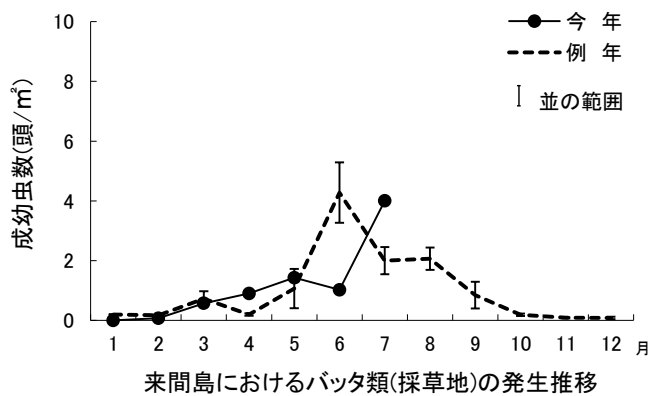


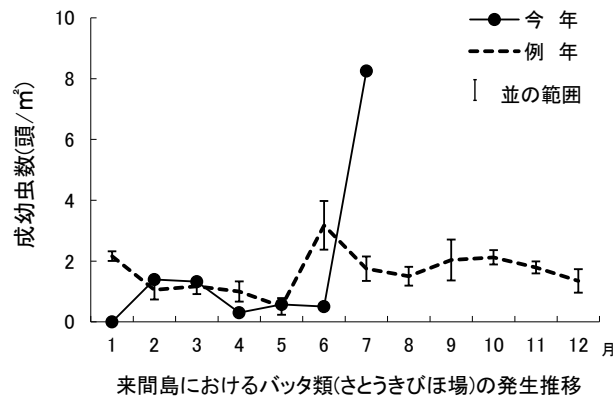
作物	さとうきび	地域	宮古群島
病害虫名	バッタ類		
7月の発生量（現況）	多		
8月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	採草地における成虫・幼虫数の例年の発生推移から、7月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

採草地




さとうきび圃場



・ 来間島の一部地域では多発していた。（発生種：タイワンツチイナゴ）

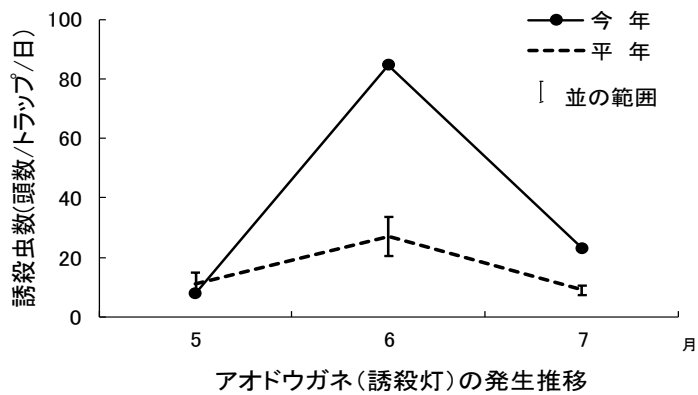
防除のポイント

- ・ 発生源となるほ場及び周辺のイネ科雑草の除草を徹底する。
- ・ 幼虫期の防除が効果的なので、ほ場周辺の見回りをを行い幼虫の早期発見・防除に努める。

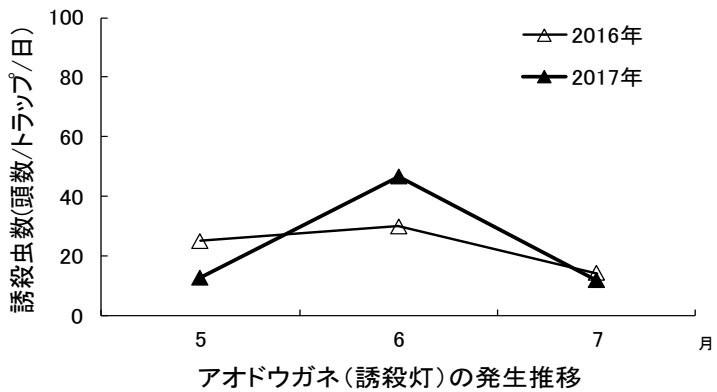
作物	さとうきび	地域	宮古群島
病害虫名	① アオドウガネ		
7月の発生量(現況)	多		
8月の増減傾向	↓		
増減傾向の根拠	成虫の主な発生時期は5月～7月であることから、7月より発生量は減少すると考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)

今年と例年の推移




過去2年間の推移



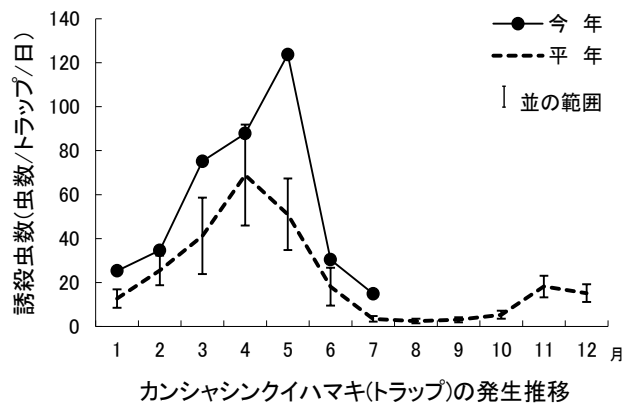
防除のポイント

- ・発生源となるほ場及び周辺のイネ科雑草の除草を徹底する。
- ・幼虫期の防除が効果的なので、ほ場周辺の見回りを行い幼虫の早期発見・防除に努める。
- ・今期、夏植えするほ場は植付け時に粒剤処理する。

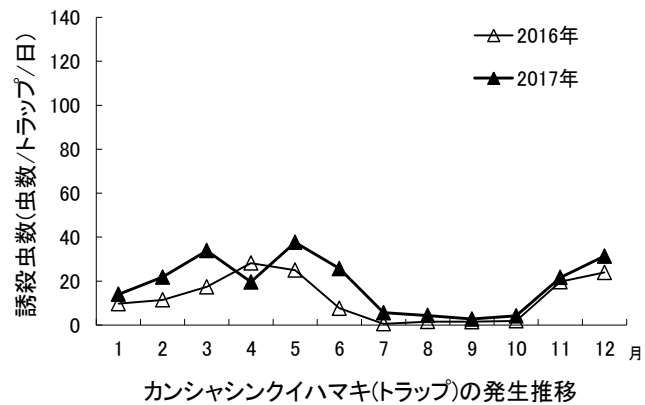
作物	さとうきび	地域	宮古群島
病害虫名	② メイチュウ類(カンシャシクイハマキ)		
7月の発生量(現況)	多		
8月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	トラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、7月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)

今年と平年の推移




過去2年間の推移



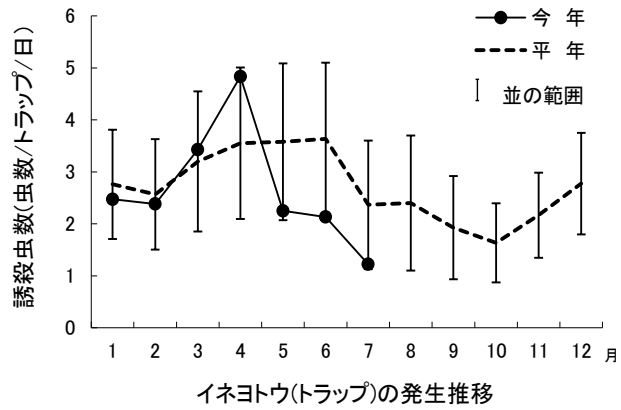
防除のポイント

- ・発生源となるほ場及び周辺のイネ科雑草の除草を徹底する。
- ・幼虫期の防除が効果的なので、ほ場周辺の見回りを行い幼虫の早期発見・防除に努める。

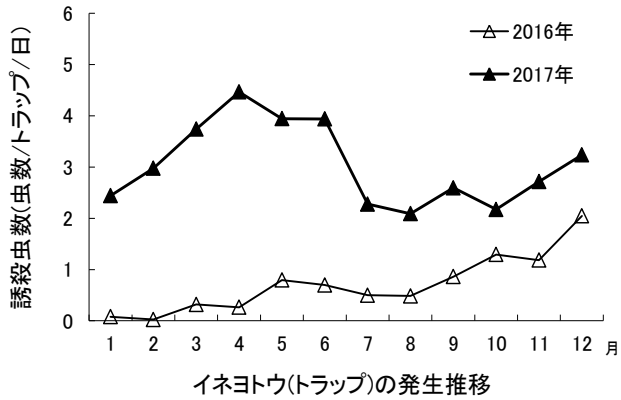
作物	さとうきび	地域	宮古群島
病害虫名	③ メイチュウ類(イネヨトウ)		
7月の発生量(現況)	並		
8月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	トラップ誘殺虫数の平年の発生推移から、7月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)

今年と平年の推移




過去2年間の推移

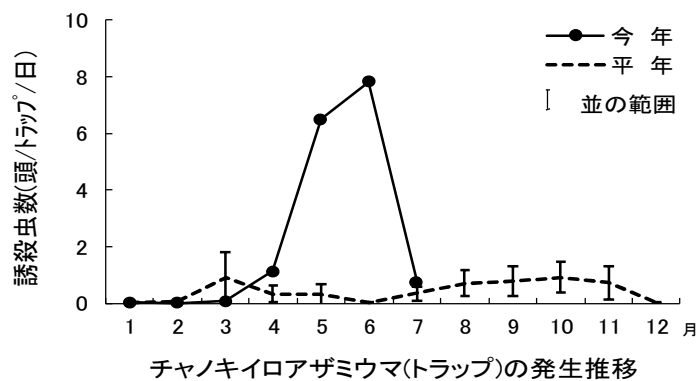
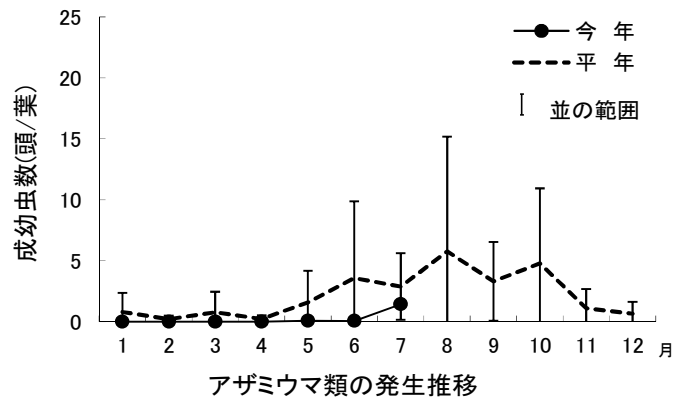


防除のポイント

- ・発生源となるほ場及び周辺のイネ科雑草の除草を徹底する。
- ・幼虫期の防除が効果的なので、ほ場周辺の見回りを行い幼虫の早期発見・防除に努める。


作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
7月の発生量(現況)	並		
8月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、7月より発生量は増加すると考えらる。		

発生量の根拠(調査結果)

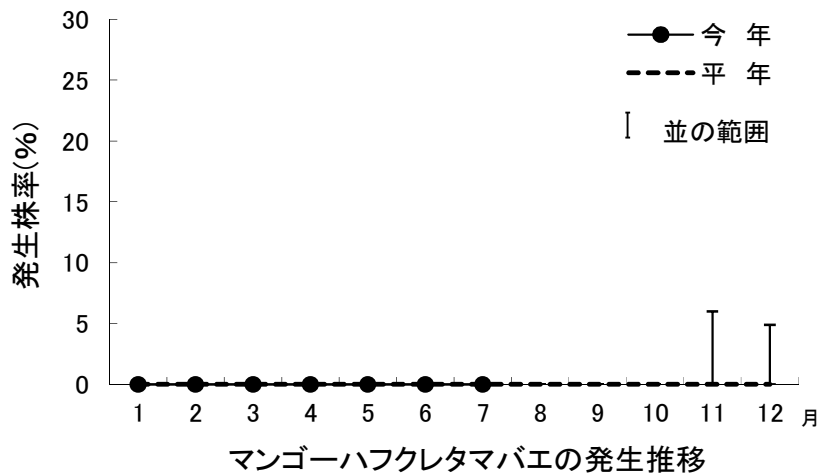


防除のポイント

- ・ 不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
- ・ 多発施設では、収穫終了後に薬剤による防除を行う。
- ・ コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ		
7月の発生量（現況）	並		
8月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	発生株率の平年の発生推移から、7月と同程度の発生量と考えられる。		


発生量の根拠（調査結果）



・一部ほ場で多発した。

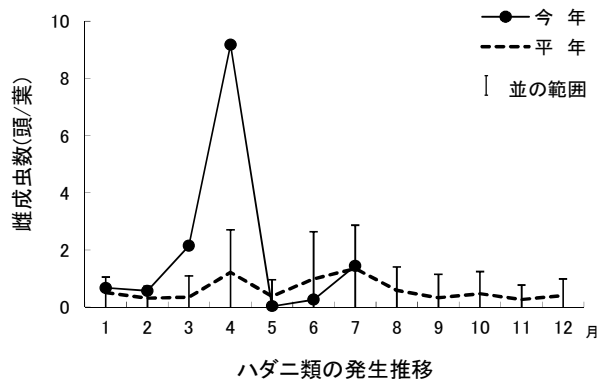
防除のポイント

- ・ 幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。
- ・ 翌年の着果枝となる新梢が加害されると減収につながるため、多発施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。せん定枝は施設外に処分する。

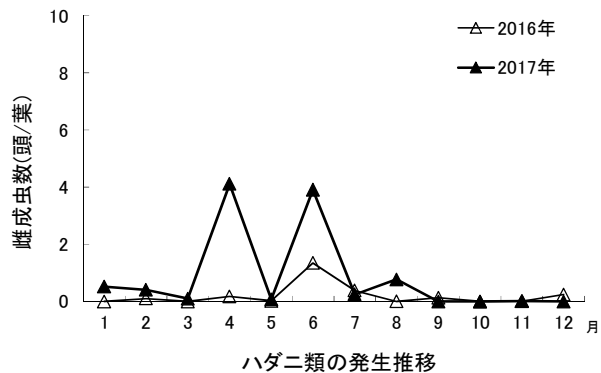
作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	③ ハダニ類		
7月の発生量(現況)	並		
8月の増減傾向	↘		
増減傾向の根拠	雌成虫数の平年の発生推移から、7月より発生量は減少すると考えらる。		

発生量の根拠(調査結果)

今年と平年の推移



過去2年間の推移



・発生種：マンゴーツメハダニ

防除のポイント

- ・収穫終了後の防除を徹底する。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。